

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年8月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4271500961
法人名	有限会社 金子
事業所名	グループホーム 愛乃郷
所在地	〒857-0341 長崎県北松浦郡佐々町羽須和免927 (電話) 0956-42-7010

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目7217 島原商工会議所1階		
訪問調査日	平成20年8月18日	評価確定日	平成20年9月2日

【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 9 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 14 人, 非常勤 1人,	常勤換算 14.3人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	実費
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要( 4 月 1 日現在)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	2 名	要介護2	6 名		
要介護3	4 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	2 名		
年齢	平均 84.5 歳	最低	61 歳	最高	97 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	はらだ医院 ・ 力竹内科医院 ・ ふくだ歯科医院
---------	--------------------------


## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームを訪れた第一印象は、入居者の表情の豊かさや各ユニットが1つのコミュニティーを形成した中で、入居者一人ひとりの力量に応じた共同生活が展開されている点である。ホームのキーワードは【その人らしさ】と【コミュニケーション】であり、それがサービスの提供に反映されるよう、職員一人ひとりが常に向上心と対峙した取り組みをされており、介護技術の中にバリエーションケアやタクティールケアなどメンタル面でのサポートを意識的に導入する試みもされている。それと並行して学習療法で入居者の脳の活性化も図られており、データを取りながら活用に繋がられている。今後は、ホームは生活の場であると同時に安らぎの場であることも心に留め置いた環境の提供・対応にも期待したい。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善計画シートの作成はされていないが、前回評価の改善点のうち、【食事提供に関して専門家の指導を仰ぐこと】と【事業所として地域への報告・連絡・相談を絶やさず、事業所アピールを地道に続ける】の2点を取り組まれ、改善に反映されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価の取り組みをされており、最終的にまとめられた各ユニットの管理者にとっては、職員一人ひとりの考え方を知る機会になっている。管理者は、そのことを前向きに捉え、今後業務に活かした対応に繋げたい意向を示された。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>概ね2ヶ月に1回開催されている運営推進会議には、佐々町の担当者、家族、地域など理想的な構成メンバーの参加があり、事業所からの行事報告や学習療法などの活動報告、事故報告などに対して参加メンバーから活発な意見・質問が寄せられている。特に、参加メンバーの職業歴や社会性を反映したアドバイスや意見は、ホーム運営に変化をもたらしている。スプリンクラーの補助申請や職員の健康管理については見直しされ、良い方向へ転化されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>金銭が関係するサービスの提供については、入居者、家族がそれぞれの気持ちをワンクッションおいて、遠まわしの言葉で伝えられるので、入居者と家族の希望の接点や真意を探求しつつも、背景を考慮しながら様子観察を通して柔軟に対応されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>前回の期待される取り組みの1つで、今回、事業所なりの取り組みを地道にされ地域との関わりが進展している。行事の挨拶回りを重ねることにより、今夏の【夏祭り】の挨拶回りでは「お疲れ様」の労いの言葉を頂けたことを嬉しそうに話された。</p>

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営者の基本姿勢である「敬愛、親切、向上」の精神をグループホームの理念に反映させたものである。開設当初からのものではあるが、グループホーム名の頭文字を使った【ありがとう いつも笑顔で のんびりと さわやかに とりくもう】の理念は、地域との関わりにも反映されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の共有と日々の取り組みのキーワードは「コミュニケーション」である。常に対等な立場で、分け隔ての無い対応を心がけられている。又、地域の方からも「笑顔と明るさ」の評価を受けられている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	前回の期待される取り組みの1つで、今回事業所なりの取り組みを地道にされ地域との関わりが進展している。行事の挨拶回りを重ねることにより、今夏の【夏祭り】の挨拶回りでは、「お疲れ様」の労いの言葉をいただいたことを嬉しそうに話された。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善計画シートなどの作成により、具体的改善の明確化に繋がる取り組みにまでは至っていないが、外部評価訪問当日は、メモの記録と情報提供を惜しまない態度で望まれている。「鉄は熱いうちに打て」の言葉のように、自らの気づきも含めて、実行できることはその日のうちに職員に報告し、検討・実践を目指されている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	基本的に2ヶ月に1回の開催である。参加メンバーの社会性を活かした視点での建設的な話し合いがなされており、ホーム運営に反映されている。例えば、参加メンバーから行政に対して、スプリンクラー設置補助の申請の件で発言・サポートを頂かれている。又、参加メンバーから職員の健康管理について質問され、その結果パート職員の導入につながっている。		

グループホーム 愛乃郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	佐々町の担当者との相談・報告などの連絡は密にされており、ホームの能力・現状も把握した連携がなされている。虐待を受けている方の緊急対応策としてホームに一時受け入れの要請があったことがあり、一時避難とはいえ、ホームとしてその方にとっての良策が見つかるまで見届けられている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の日々の暮らしぶりや健康状態、金銭管理については、家族の訪問時などに伝えられているが、職員の異動などについての報告はまちまちである。今回、改善の取り組みを具体的目標を挙げて自己申告され意欲を示された。	○	具体的目標として、職員の異動も含めて入居者・家族と職員の更なる信頼関係の構築に繋がる情報提供のあり方を全職員で検討して、家庭環境に近い垣根を越えた双方向のコミュニケーションを目指されている。
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	金銭が関係するサービスの提供については、入居者、家族がそれぞれの気持ちをワンクッション置いて遠まわしの言葉で伝えられるので、入居者と家族の希望の接点や真意を探求しつつも、背景を考慮しながら様子観察を通して柔軟に対応されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動に関しては、ユニット間の行事などを通して入居者と職員の交流がなされているので、自然に入居者に受け入れられている。新任職員に関しては、最初の2週間ほどは日勤の勤務を通して入居者に馴染んでもらい、夜勤見習いなどの段階を踏んで入居者のダメージを最小限に抑えるよう努められている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務に関する内外研修の受講はもちろんのこと、経営者であり施設長をはじめに職員の能力・興味を活かした特殊講座の受講も奨励されており、すでに学習療法指導員、認知症ケア専門士の資格を取られた職員は業務に活かされている。現在、バリエーションケアやタクティールケアの学習をされている職員もあり、メンタル面の強化も図られている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームは、佐々町に3事業所5ユニット存在するが、佐世保市のグループホーム協議会に所属されている。現在、佐々町のグループホームで合同の行事を検討中である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>当該ホームの入居者は、デイサービス利用からの入居であったり、体験入居制度を利用してからの入居などサービスの利用開始までに時間をかけた取り組みで支援されている。入居後もホーム生活に馴染まれるまでは、その方の安定・安心に繋がるサポートを心がけられている。例えば、籠を編むことが趣味の方には、材料一式を持ち込んでもらい趣味に精を出すことで気分転換を図ってもらうなどの支援をされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>男性職員は、入居者の手伝いを受けながら料理を作られており、一連の作業を通して入居者から学んだり、共に支え合う関係を構築されている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>外部評価訪問当日の聞き取り・話し合いの場面で【コミュニケーション】という単語を良く使われていたが、入居者とのコミュニケーションやカルテなどからの情報を足がかりに観察を通して思いや意向の把握に努められている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者担当職員が介護計画の雛形を作成し、ケアカンファレンス会議で検討し介護計画書の作成に至っている。家族には作成された介護計画書を説明し、同意を得られている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的に3ヶ月に1回の見直しと、変化時はその都度の見直しで対応されている。見直しは、介護計画に沿って参加職員でミーティングされているが殆どが継続である。カルテ(個人記録)が生活記録になっており、個別対応に関する入居者の状態、職員の対応、評価等の記録がなされておらず、介護計画の見直しに反映されていない。</p>	○	<p>個人記録と業務記録の性質を活かした記録内容を再検討され、個人記録には、日々の様子やケアの実践、職員の対応、結果、気づきや工夫など記録し、職員間の情報の共有や介護計画の見直しに活かせる記録様式にされることが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者自身の自宅訪問や皮膚科や眼科など専門の病院受診の同行など要望に応じて支援されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者のかかりつけ医と協力医療の医師間の医療連携は図られているが、入居者の殆どが家族の都合や要望で、かかりつけ医を協力医に変更されている。又、協力医の2週間に1度の往診などで入居者の健康管理がなされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時に入居者・家族の意向は聞かれているが、事業所側の体制作りや取り組み姿勢などについては伝えられていない。	○	事業所としての重度化や終末期のあり方の基本方針を文書化され、状況変化に応じたその都度話し合いを通して方針を具体的に共有できるような仕組み・体制作りが望まれる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	外部評価訪問当日の視察中の出来事であるが、職員がワンピース着用が入居者に言った何気ない注意の言葉が、入居者に不安と羞恥心を与えていたように見受けられた。	○	馴れから生じることであるが、【親しき仲にも礼儀あり】という言葉があるように、プライバシーに配慮した言動が望まれる。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの基本的生活の流れの中に、入居者の要望を取り入れている。「見返り橋まで行きたい」や「ジョイフルのアイスを食べたい」などの要望があれば、可能な限り支援されている。		

グループホーム 愛乃郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と職員が同じ食卓を囲み、必要以上の手出し、声かけ誘導は差し控えられており、自助具を使って時間がかかっても可能な限りの自力摂取の支援をされている。食後は、自発的に片付けに入る人、声かけされて手伝う人などいろいろであるが表情は自信に満ち溢れており、職員との共同作業をこなされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に毎日沸かされており、2日に1回の入浴支援であるが、希望があれば可能な限りの支援をされている。又、入居者によっては仲のよい入居者と一緒に「銭湯気分」で入浴を楽しまれることもある。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム玄関の花生けや読書など趣味を活かした支援をされており、本人の自信回復や役割、気晴らしの支援に繋がられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	転倒事故が影響しているのか、外出の支援が消極的に感じられるのは否めないが、入居者の要望に沿った外出の支援はなされている。近所ではあるが「見返り橋」までドライブしたり、「アイス」を食べにドライブを兼ねて出かけられている。又、敷地内の中庭で外気浴や洗濯物干しの支援もされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	必要時以外の玄関への施錠はされておらず、フロアには最低一人の職員が常駐して入居者の居場所確認や状態把握に留意されている。入居者の外出傾向を察知したときは、声かけ、寄り添いなどを通して入居者の安心・安定に繋がる環境づくりに努められている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自主防災訓練を6ヶ月に1回開催されており、家族や近所の方にも参加を呼びかけされており、意識付けなどの取り組みに反映されている。		

グループホーム 愛乃郷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	地域包括支援センターの保健師に1週間分の食事メニューの点検・指導を仰ぎ、更に事業所に出向いてもらい現場での指導も受けられている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアからは外の様子を窓ガラス越しに見ることができ、季節感や天気など視覚を通して知ることができる。訪問した日も「今日は、風が強いね。木がなびいてる。」と入居者に声をかけていただいた。又、フロアに面して、対面式のシステムキッチンが設置されているので生活感も充分察知でき、五感に響く環境である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、一間幅の押入れが設置されているので、見せていただいた居室の殆どは押入れに物を収納されており、シンプルな感じの居室作りになっているが、ベッド周りには目覚まし時計や縫いぐるみ、化粧道具、家族写真など持ち込まれている。宮付きのベッドの上(頭)下(あし)側を逆に使われている入居者がおり、本人にとっては落ち着ける設定である。		